

社会や時代のニーズに合わせて シミュレーターソフトを進化

Hondaは長年培ってきた安全運転のノウハウを活かし、シミュレーターをはじめ、さまざまな安全運転教育の現場で活用していただくための教育機器やソフトを提供しています。それらは、社会のニーズに合わせて常に進化させています。

多くの自動車教習所に普及が進む Honda ライディングシミュレーター

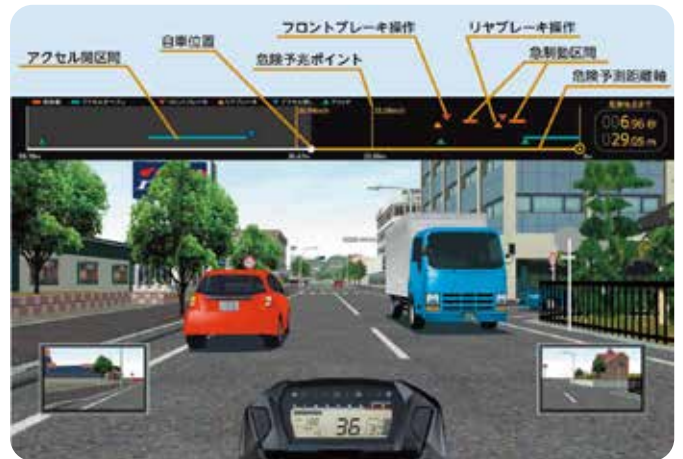
2016年に運転シミュレーター型式認定基準が改正され、二輪免許の教習に次世代二輪シミュレーター*の運用が可能となりました。また、今年の道路交通法施行規則の改正では「普通自動二輪車免許の教習に運転シミュレーターを使用しないことができる」という経過措置が廃止されました（施行までの猶予期間3年）。

このような環境の中、2017年11月にライディングシミュレーターをモデルチェンジ。3代目となる新型は、より多くの教習所で活用していただけるよう軽量・コンパクト化を実現しました。コンパクトながらもAT車とMT車、さらに普通二輪車、大型二輪車のいずれの危険予測教習にも対応しています。走行中にどの地点で危険を感じ取ったかを記録して走行再生時に表示する「危険予測表示機能」など、危険予測の学習ができるソフトを充実させ、指導の表現力を高めました。危険予測学習ソフトの充実・低価格化、そして指導の表現力の向上などにより、51校（10月末現在）の自動車教習所に導入されています。今後もソフトをバージョンアップさせることで、社会のニーズに応えていきます。

※次世代：危険予測に特化し、車体傾斜機能を持たない



2017年11月にモデルチェンジした
Honda ライディングシミュレーター



「危険予測表示機能」で走行時の操作を記録（画面はイメージ）
※平成28年4月15日 特許登録（特許第5919243号）

Hondaの安全運転教育機器



Honda セーフティナビ
「安全」な運転知識と「環境」にやさしいエコドライブを楽しく学習できます。



Honda 自転車シミュレーター
自転車を運転する際に起こりうる危険を仮想空間上で体験することで、危険予測能力や安全意識の向上を図ります。



**リハビリテーション向け
運転能力評価サポートソフト**
四輪での運転復帰に向けて、運転能力に対する評価・訓練をサポートするソフト。シミュレーターにより、運転操作における手足の複合的動作を確認できます。